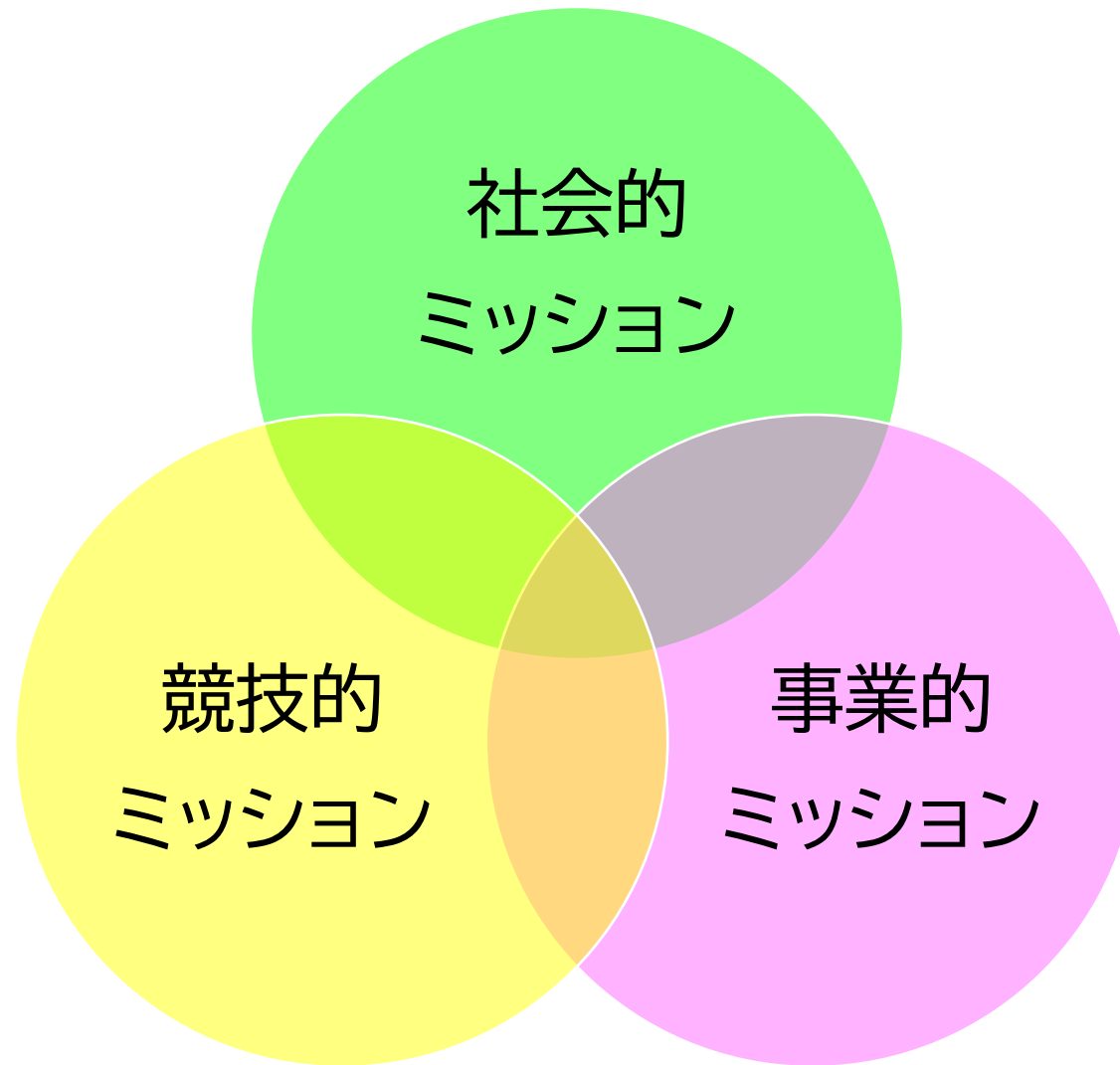


神奈川県

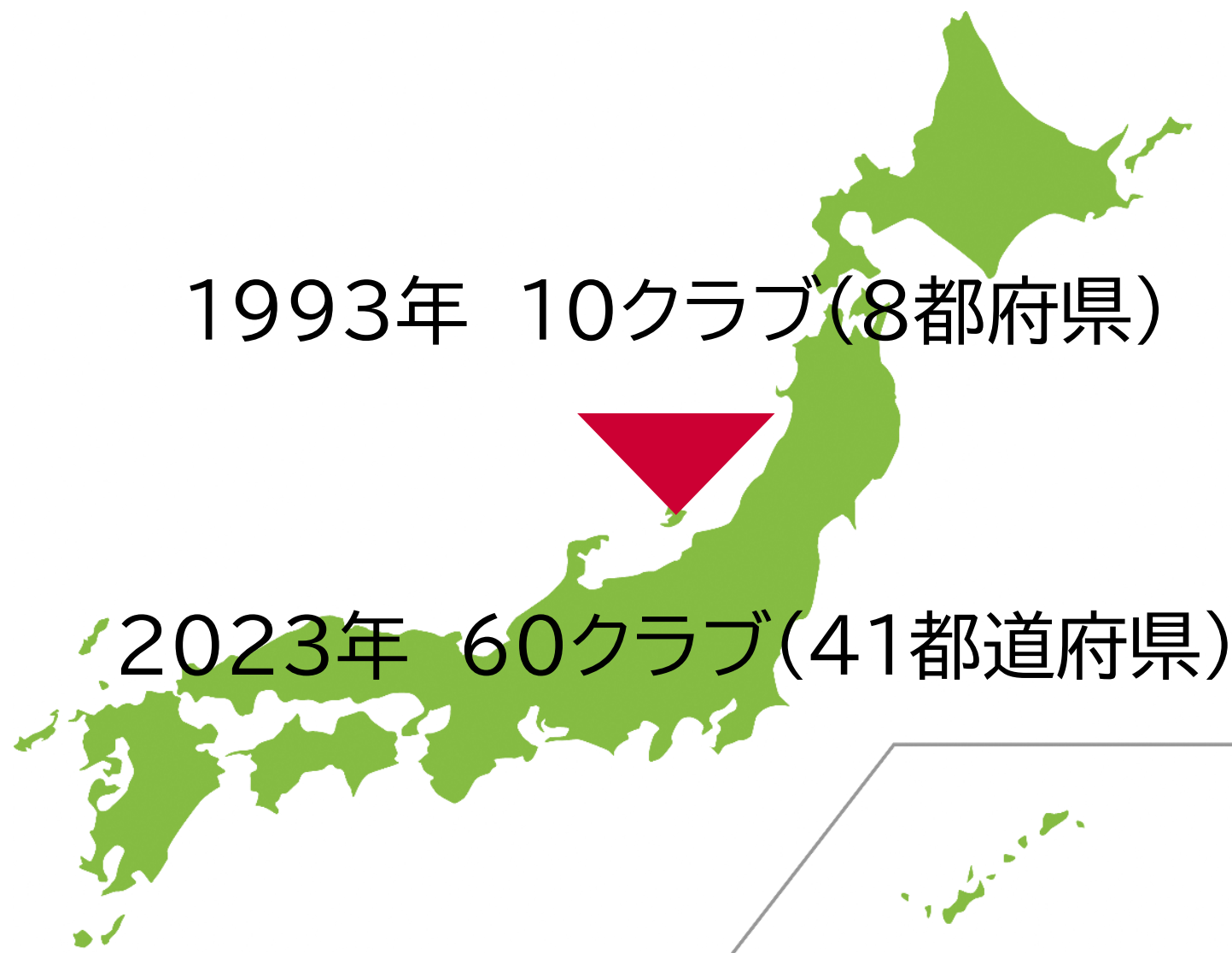
「SDGsパートナーミーティング」

公益社団法人日本プロサッカーリーグ
サステナビリティ部 鈴木順



Jリーグのホームタウン活動

1993年 10クラブ(8都府県)



2023年 60クラブ(41都道府県)

【Jクラブのない県】・福井・三重・滋賀・和歌山・島根・高知

Jリーグ理念

- ・日本サッカーの水準向上及びサッカーの普及促進
- ・豊かなスポーツ文化の振興及び国民の心身の健全な発達への寄与
- ・国際社会における交流及び親善への貢献

百年構想

～スポーツで、もっと、幸せな国へ。～

ホームタウン活動

Jリーグ規約第24条[Jクラブのホームタウン(本拠地)]第2項

「Jクラブはそれぞれのホームタウンにおいて、

地域社会と一体となったクラブづくり(社会貢献活動を含む)を行い、

サッカーをはじめとするスポーツの普及および振興に努めなければならない。」

自分が住んでいる地域にJクラブがあることで
「私の人生・日常が豊かになった！」
そんな人をもっと増やしたい

全クラブ合計 年間**21,000**回超

(2021年度57クラブ実績 一クラブ平均約370回)



ただ、これ以上回数を増やすことには
限界があるのではないか？

でも、自分が住んでいる地域にJクラブがあることで
「私の人生・日常が豊かになった！」
そんな人を、もっと増したい・・・

そのためには、
活動の質を深め、より多くの人と協力して、
届ける先を広げていくしかない！



Jリーグをつかおう。社会のために。

チャレンジ!

Jリーグ社会連携



共通のテーマ



3者以上の協働

共通のテーマ

ダイバーシティを体感する

教育をもっと面白く！

健康でいきいきと！

多世代交流

子供の貧困

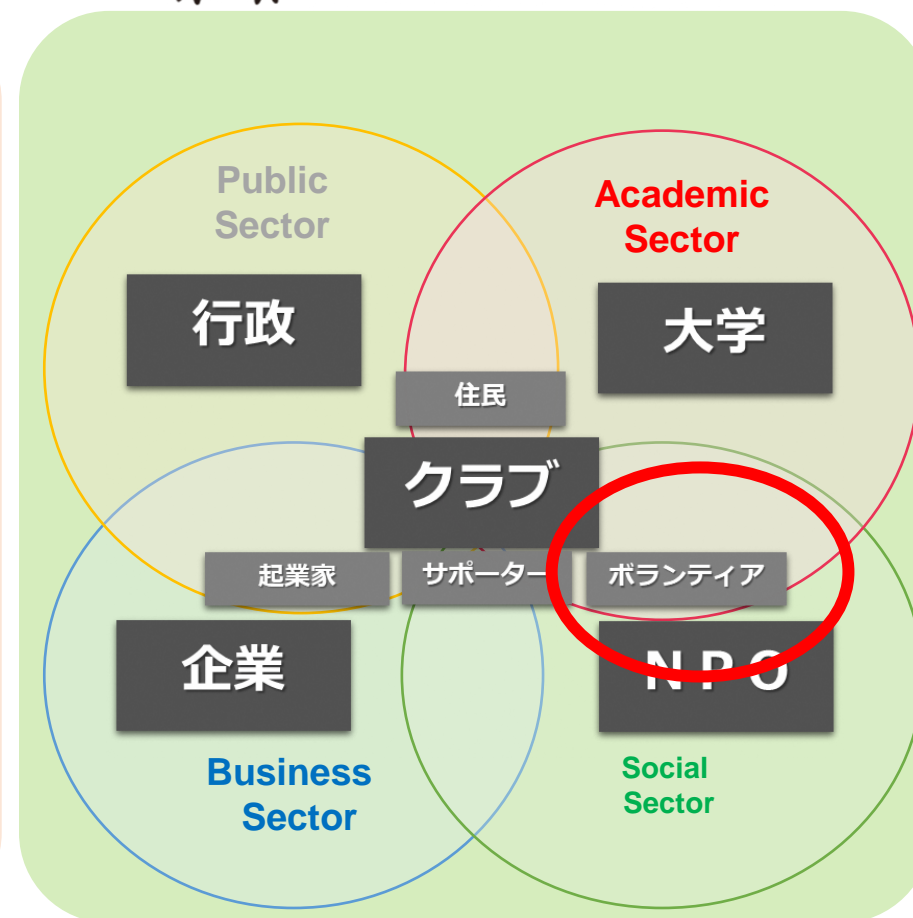
農業

防災

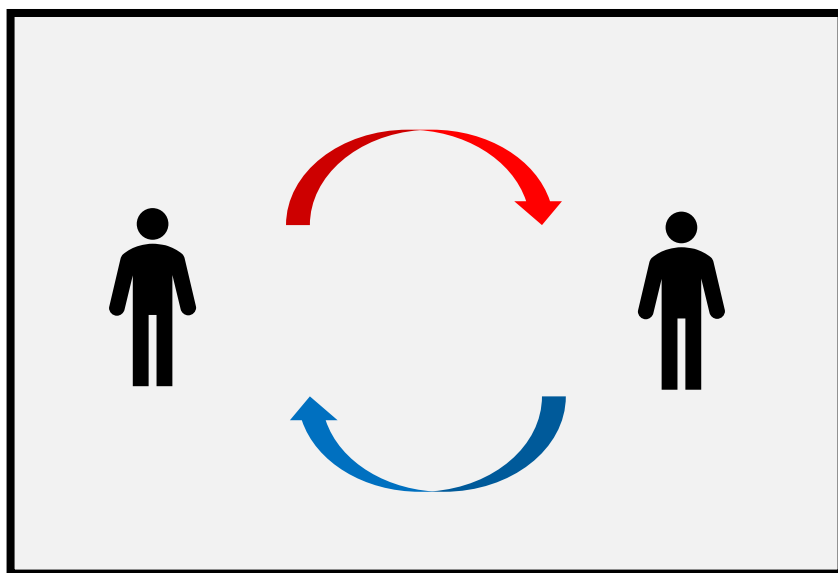
環境



3者以上の協働



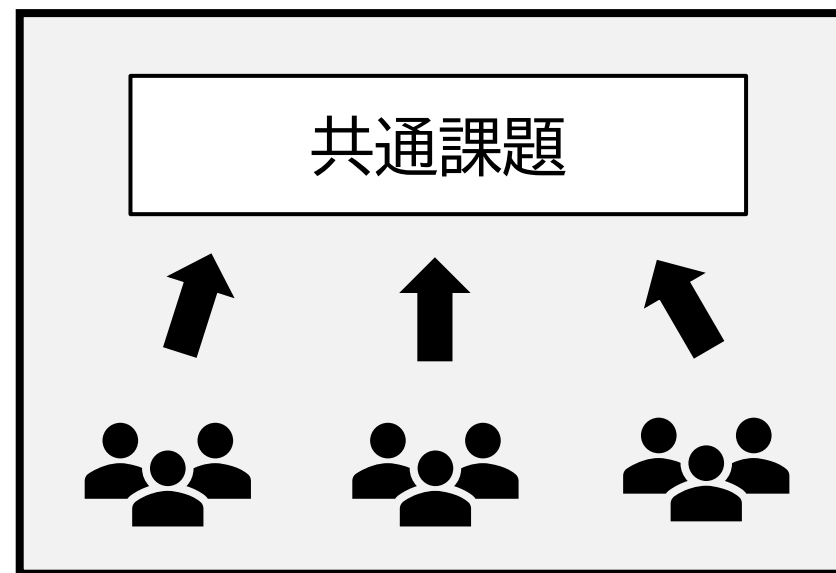
交換モデル



交換するものに価値がある

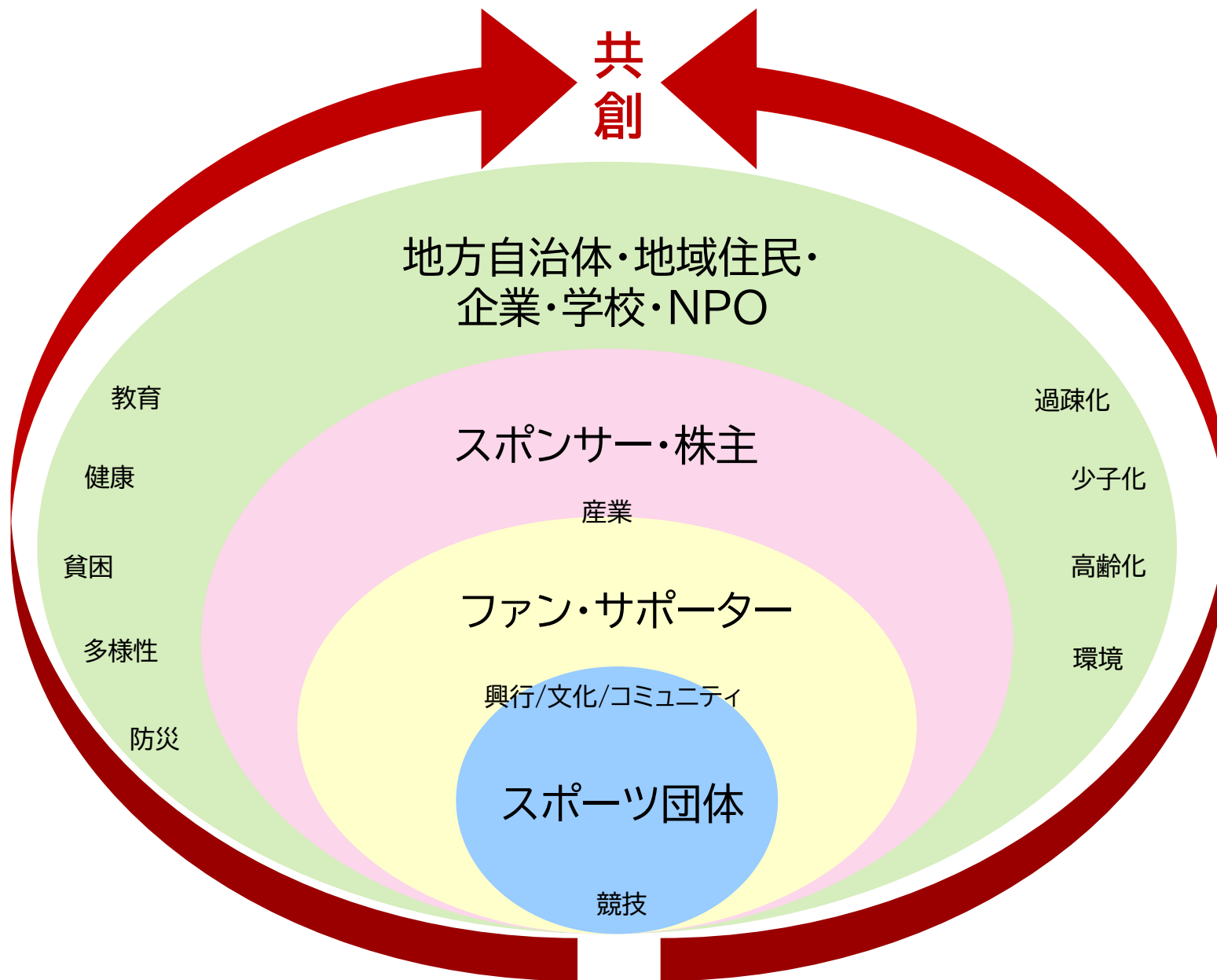
※等価交換を求めがち

共創モデル



プロセスからの学びと
成果に価値がある

スポーツを活用して、日本の、地域の豊かな生態系をつくる



世界で最も地域を愛するリーグへ ～私たちが出来ること～



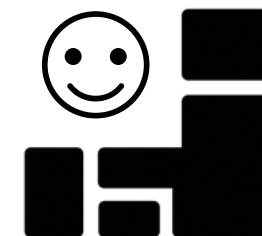
自分に出来ることは
ないかと一歩踏み
出す人を増やす



人と人が
支えあう風景を
増やす



誰もが誰かの
サポーターに
なれる世界観



全国に
笑顔を増やす



「Jクラブは自分と関係がある、大切な存在だ」という人が増える
「サッカーそのもの以外にも関わり方がある」と知っていただくこと



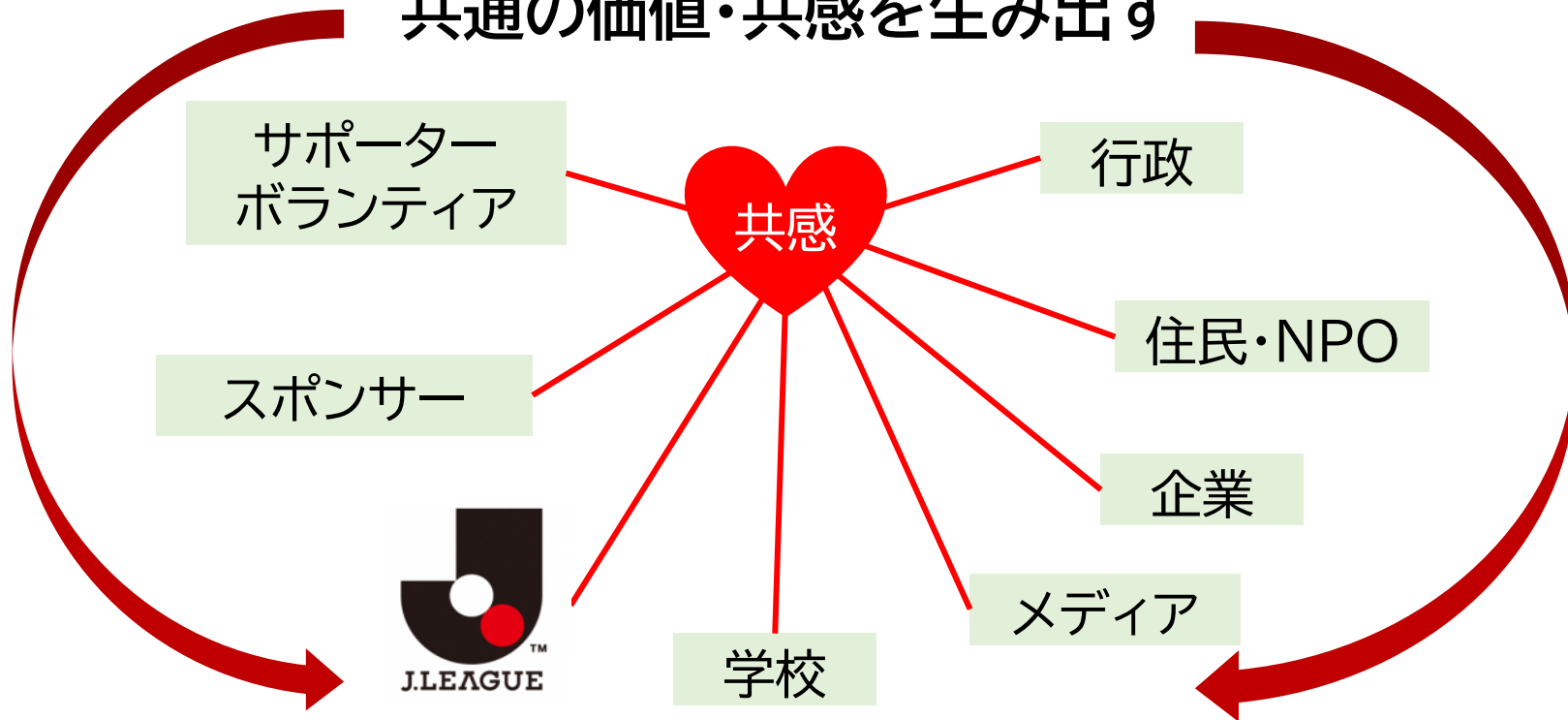
社会貢献だけではなく、**経営戦略の1つ**でもある

地域の持続可能性



社会課題の解決に協働で取り組み
共通の価値・共感を生み出す

存在意義や
“価値”の
発見・信頼



関係性の
構築



Jリーグをつかおう。社会のために。

チャレンジ!

Jリーグ社会連携